

【2024 SyDE 海外研修 実施報告】2024.9.22~2025.2.14

日本学術振興会「若手研究者海外挑戦プログラム」の支援を受け、フランスの LATMOS (Laboratoire Atmosphères, Milieux, Observations Spatiales) の Dr. Thomas Gautier の元で、約5ヶ月間の海外研修を行いました。滞在中は、LATMOS の Dr. Yann Leseigneur と共同で、欧州周回探査機 Mars Express に搭載されている近赤外撮像分光装置 OMEGA の観測データを用いて、火星大気におけるダスト雲頂高度の推定手法の確立と応用に取り組みました。さらに本研修期間中には、フランスの複数の研究機関 (LIRA, LMD, IAS) を訪問して、モデルシミュレーションや異なる観測手法を用いた研究者と議論を交わし、多方面からのアプローチ方法を学ぶことができました。

また本研修を通じて研究面のみならず、語学力や国際的なネットワークの構築といった面でも大きな成長を実感しました。受入先には日本人研究者がいなかったため、日常的に英語での議論や発表を行う機会が多く、英語でのコミュニケーション能力が向上しました。さらに自主的にフランス語を学習し、現地でフランス語試験に合格することができました。フランス語を用いることで現地の研究者との距離が縮まり、異文化理解の面でも有意義な経験となりました。フランスでは、研究者間の議論が非常にオープンであり、学部生からポストドクまでが対等に議論できる環境が整っていました。さらに、業務の分担が明確で、仕事とプライベートのバランスを重視する文化にも触れることができました。これらの経験を今後の研究活動やキャリア形成に活かしたいと考えています。

最後になりますが、本研修の実施にあたり、ご支援をいただいた日本学術振興会「若手研究者海外挑戦プログラム」の関係者の皆様、ならびに受入先の Dr. Thomas Gautier をはじめとするフランスの研究者の皆様にご心より感謝申し上げます。

風間 暁 (理学研究科・地球物理学専攻・D2)



一緒に研究を行った Dr. Thomas Gautier と Dr. Yann Leseigneur